

歯科の基本である「咬合」を長期的な視点で
理解するために、すべての先生方におすすめします!

近日発刊!

変化する 顎関節と咬合

—咬合採得の実践—

著 | 福島俊士

- 著者の長年にわたる研究成果を踏まえて、さまざまに変化する顎関節に対応する咬合治療の実際を長期症例を通して紹介しています。
- 特に顎関節に変形がみられる症例の咬合採得について、具体的な手順と注意点、そして長期的な経過を豊富な写真と解説で紹介しています。
- 適正な咬合とは、定型的な一つの形をとるのではなく、咬合を構成するいろいろな要素がさまざまに変化する中で保持され回復されるいわば動的な形をとることを、咬頭嵌合位という最も基本的な下顎位について供覧しています。

内容紹介

臨床編

I章 下顎位の決定

1. 術前の咬頭嵌合位の評価
2. 術前の咬頭嵌合位を変更する場合
3. 術前に咬頭嵌合位がない場合

II章 咬合採得

1. 咬合採得の基本パターン
2. 顎関節に起こる変化
3. 片側性に下顎頭が変形している場合
4. 両側性に下顎頭が変形している場合
5. 進行性に下顎頭が変形している場合

III章 外科的矯正治療と咬合

基礎編

IV章 下顎頭位

1. 基準となる下顎頭位はあるのか
2. 臨床において顎頭安定位を求める
3. 顎関節に問題のある症例に付与すべき下顎頭位とは

V章 習慣性開閉口運動

1. 習慣性開閉口運動の位置づけ
2. 習慣性開閉口運動に影響する因子
3. 習慣性開閉口運動の分析
4. いろいろな症例の習慣性開閉口運動
5. 習慣性開閉口運動による下顎位の決定

A4変判・272頁・オールカラー

医院の総合力を高めるための
チーム医療によるブラッシング指導の実践!

近日発刊!

セルフケアの定着を目指して

景山歯科医院の ブラッシング指導

33症例から導き出す臨床のポイント

著

景山正登・景山亜由美
飯田しのぶ・小林里江・田中浩子

東京都／景山歯科医院

- 歯周病専門医・認定歯科衛生士がチームアプローチで実践するブラッシング指導を詳細に紹介。
- ブラッシングの基本から、問題点と対処法、清掃用具の選択など、多数の臨床例からポイントをわかりやすく解説。
- ブラッシング指導に迷ったときに参考となる患者説明用資料やアドバイスを多数掲載。

内容紹介

I ブラッシング指導の基本

— ブラッシング指導を始める前の基本的ポイント

- ・ ブラッシングの目的
- ・ ブラッシング法のポイント
- ・ ブラッシング法の種類
- ・ 景山歯科医院の歯科衛生士が指導しているブラッシング法
- ・ ブラッシングの順序

II ブラッシング指導のポイント

- ① 景山歯科医院で行っているブラッシング指導
- ② ブラッシング指導の問題点と対処法
- ③ 清掃用具の選択

III ブラッシング指導に迷うときの参考資料

- ・ 1つ上を目指すワンポイントアドバイス
- ・ Q1：砂糖はどのように摂取したらよいか?
- ・ Q2：食後のブラッシングはいつ行えばよいか?
- ・ Q3：歯肉退縮を起こした歯間乳頭の回復は?
- ・ Q4：部位別の歯ブラシや補助器具の選択ポイントは?
- ・ Q5：手先が上手く動かせなくなってきた高齢の患者さんには?
- ・ Q6：補綴物のブラッシングは? — ①支台の高径が短い場合
- ・ Q7：補綴物のブラッシングは? — ②複雑な形態の場合

<付 録> 景山歯科医院で使用している清掃用具

<コラム> ・ ブラッシング指導にPCRを用いるときの注意点
・ ブラッシング指導の問題点を解決するために
— ブラッシング時の染め出しとPCR

A4変判・80頁・オールカラー・予価(本体4,000円+税)

株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-3 第25中央ビル
Tel.03-3252-9261~4 Fax.03-3254-3876
<http://www.hyoron.co.jp>